

施策マネジメントシート(2019年度の振り返り、総括)

作成日 2020 年 6 月 24 日

基本目標	I	誰もが安心して安全でゆとりを感じるまち	主管課	名称 生活水道課 課長 金子 喜一郎
施策	11	水道の整備	関係課	

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
町民	安全な水道水の供給を安定して受けられる。		1 安全な水道水の安定供給	町民	安全な水道水の供給を安定して受けられる。
			2 水道事業の健全運営	町民	適正な料金で水道水の供給を受けられる。
			3		
			4		

施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清浄な水道水の供給を図り、安心安全な水道への切り替えを促進します。</li> <li>・老朽化した施設の更新を計画的に進めるため、財政健全化計画やアセットマネジメントを含む水道ビジョン等を策定し、限られた財源で最大限の成果が得られるよう取り組みを推進します。</li> </ul>
---------	--

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
				A 水道普及率	%	実績値	96.6	96.7	96.7	96.7
B 水質に関する苦情件数	件	実績値	0	0	0	0				
		目標値		0	0	0	0	0	0	0
C		実績値								
		目標値								
D		実績値								
		目標値								
E		実績値								
		目標値								

指標設定の考え方と実績値の把握方法	<p>A) 数値が高まれば、結果として町民が安全な水道水の供給を安定して受けられていることに繋がるため成果指標とした。 給水人口/給水区域内人口(給水人口は町営水道のみ)</p> <p>B) 件数が減れば、町民が安全な水道水の供給を安定して受けられているといえるため、成果指標とした。広範囲にわたる相当な被害で直接町に苦情を申し入れた件数。</p>
-------------------	--

目標値設定の考え方	<p>A) 水道普及率を96.9%まで向上させる。近年のライフスタイルの変化により、自家水(井戸水)などの水質が変動してきているため、地下水を利用している町民の方々に水の安全性を確認してもらい、自発的に町営水道へ移行していただく。</p> <p>B) 水質監視の強化や危機管理体制の充実を図ることにより、安心安全な水道供給に努め、苦情件数0件を目指します。</p>
-----------	--

施策のための目的・役割分担	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漏水の発見などに対する通報を行う。</li> <li>・利用者として常に水道水の品質を監視する。</li> <li>・水道使用料を未納無く納入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定水量を確保し、水質を向上させる。</li> <li>・水道施設を整備(新規・更新)する。</li> <li>・効率的な運営を図り、可能な限り水道料金の値上げ抑制を図る。</li> </ul>

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少に比例し、水道料金の徴収額は上がらないことが予想される。</li> <li>・すべてが上水道事業となったため、簡易水道の補助対象外となり、併せて簡易水道債・過疎債も対象とならないため、財源(特定)の確保が難しくなる。</li> <li>・安全で安心な水道水の維持に欠かせない技術者不足が懸念される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道料金の料金改定を望む声が寄せられている。</li> <li>・突発的な断水の周知が行き届かない事がある。特に水上地区では防災無線が無いので、問い合わせが多く寄せられる。</li> </ul>

施策	11	水道の整備	主管課	名称	生活水道課
				課長	金子 喜一郎

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	①時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①水道普及率は、平成30年度96.7%、令和元年度96.7%と横ばいである。給水区域内では今でも良質な自家水道・井戸が利用されているため、横ばい傾向で有り急激な上昇は見込めない。 ②広範囲にわたる水質に関する事故(苦情)件数は0件であったが、断水工事などによる濁り苦情は若干あった。
	②他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①令和元年度実績で水道普及率(96.7%)は、沼田市99.9%、昭和村98.9%、川場村97.0%と比べ下回っているが、片品村は95.5%となっており、上回っている。これだけ広く複雑な給水区域と数多くの施設を保有する類似団体は少ないため比較することが難しい。
	③目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①水道普及率は目標値96.8%に対し実績値96.7%となり、0.1ポイント下回った。 ②水質に関する苦情件数は目標値0に対し実績値0となり、目標どおりとなった。

基本事業の成果指標	基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度					
					1	安全な水道水の安定供給	A 水質基準超過件数	件	実績値	0	0	0	0			
										目標値		0	0	0	0	0
2	水道事業の健全運営	A 有収率	%	実績値	78.2	78.2	78.2	78.2								
					目標値		78.3	78.5	79.0	79.5	79.7	80.0				
3		A		実績値												
					目標値											
4		A		実績値												
					目標値											

今後の課題と取り組み(案)	基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)	
	1	安全な水道水の安定供給	①老朽化した浄水場の統合や設備の更新 ②水源地の公有地化の推進 ③水源の確保	①須川一東部間の連絡管工事を進める ②地権者との協議調整 ③地域内の水源を有効活用する管路網の整備
	2	水道事業の健全運営	①老朽化した施設の更新・改修費用の増加に伴う財源確保 ②未収金対策 ③漏水対策 ④技術者不足による人材育成対策	①経営戦略を策定し、財政バランスのとれた効率的な事業運営を行う。 ②必要に応じて給水停止処分を行い、民間委託者と連携し徴収業務に取り組む。 ③漏水調査結果による対象箇所への修繕を行う。 ④専従職員(技師等)の配置に向けて取り組む。
	3			
4				

## 11\_水道の整備

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 18 日更新)

事務事業	000007	組合水道施設等整備事業補助金交付事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	2,936,000 円				
施策体系	施策	11	水道の整備	①公衆衛生と生活環境の保全の改善を図るため、組合水道等に補助金を交付する。		①他市町村の補助金交付状況を参考に要綱を(案)を策定した。		事業実績					
	基本事業	01	安全な水道水の安定供給	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		新治地区(柳沼水道組合)、水上地区(寺間隣接地水道組合)の2団体。					
根拠	無	組織	生活水道 課	環境政策 係		①補助金交付要綱の制定。		①要望内容の整理し、組合水道等に補助金を交付する。		平成30年度	令和元年度	単位	
事業期間	継続事業 ～ 年間		会計	1	款	4	項	1	目	5	0	2	団体数

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 18 日更新)

事務事業	000011	水源等保全対策事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	317,900 円				
施策体系	施策	11	水道の整備	①水源確保のための用地測量・買収業務。		①関係する利害関係を調査した。		事業実績					
	基本事業	01	安全な水道水の安定供給	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		藤原地区水源の不動産鑑定評価を実施					
根拠	無	組織	生活水道 課	環境政策 係		①水源用地の転売危機が迫っており、早急に地権者等と交渉を進めなければならない。		①早急に地権者と交渉を行い、用地確保を進める。 ②ぐんま緑の県民税 市町村提案型 森林の公有化事業の活用		平成30年度	令和元年度	単位	
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	4	項	1	目	5	0	1	件

令和 元 年 8 月 22 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000001	【繰出金】水道事業会計		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	63,655,017 円				
施策体系	施策	11	水道の整備	一般会計からの繰出事務(基準内繰出分) ・建設改良等に伴う出資金繰出 ・起債償還に係る補助金繰出 ・消火栓新設に係る工事負担金繰出 ・消火栓維持管理に係る負担金繰出		-		事業実績					
	基本事業	02	水道事業の健全運営	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		出資金・補助金受入業務					
根拠	有	組織	生活水道 課	上下水道 係		課題なし		水道事業会計の健全経営		平成30年度	令和元年度	単位	
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	4	項	3	目	1	156,868	63,655	千円